

学校教育に骨髄バンクを 「海部会長が文部省に協力要請」

「中学校や高校の授業の中で骨髄バンクのことをとりあげてはもらえませんか」
八月十一日、海部幸世会長は文部省を訪れ、坂元事務次官に骨髄バンクについて中等教育の中でとりあげ、若い人たちに理解して欲しい旨を訴えました。これは海部会長自

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒130 東京都墨田区
東駒形1-16-7
第1ホークプラザ303号
TEL.(03)3625-7307
発行責任者
運営委員長 渡辺孝一

郵便振替口座
東京 5-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655



坂元弘直次官(左)に陳情する海部幸世会長(中央)
— 8月11日、文部事務次官室で —

らの発案で実現したものです。御主人の海部元首相がかつて文部大臣を務めたこともあり、会談は前向きで積極的なものとなりました。

こちらからの要請には全てに耳を傾け、反対に「これは現場の教師がまず理解しなければいけませんから、そこから進めることにしましょう」といった提案もありました。近いうちに教室で子供たちに見せる文部省選定の骨髄バンクのビデオが登場するかも知れません。

また、当日は大学生のドナー休暇(公欠)制度についても、実現するよう要望しました。これについても学生課長を呼んで話をすることの答をもらいました。

全国協議会の運動も、これからは文部省に対するアプローチという側面も出てきました。

みんな集まれ! 横浜へ 協議会設立3周年記念



「全国の ボランティアの 皆さんへ」

会長 海部幸世

今年六月、全国協議会は現在の体制になって満三年を迎えました。この記念すべき節目に九月十一日に記念全国大会を、十二日には記念事業として伊勢正三さんのチャリティーコンサートを、さらにパナソニックを主催することになり、神奈川骨髄移植を考える会が中心となって着々と準備が進められています。

当日は国や財団、日本赤十字社をはじめとする多数の来賓の方々もお招きしています。三周年を機に、さらに充実した日本の骨髄バンクにして行くため、全国のボランティアが横浜に集まり、盛大な催しにして行きたいと思っております。

全国で草の根運動を繰り返しているボランティア仲間が一同に会し、これからの運動をさらに推進して行くことを確認しあおうではありませんか。

楽しく 感動的な内容で = 3周年記念大会 =

全国協議会設立三周年記念大会は、九月十一日(土)午後一時から山下公園前の神奈川県民ホールで開かれます。第一部は、記念式典で、海

伊勢正三・中西俊博の 素晴らしいステージ 骨髄バンク支援 チャリティーコンサート

カラオケで「なごり雪」を唄ったことのある人は多いのではないのでしょうか。その詞と曲を作ったのが伊勢正三さんです。あのかぐや姫のメンバーでした。その後「風」を結成して「22才の別れ」が大ヒットしました。この曲をカラオケで歌う人も沢山います。その伊勢さんが三周年記念のため、久しぶりにステージに立つことを快く引き受けてく

部会長の挨拶を初め、神奈川県知事、横浜市長、厚生省、下村参議院議員、小池財団理事長の祝辞が予定されています。

第一部は、「私と骨髄バンクボランティア」と題して、ケント・デリカットさんと大谷貴子さんの対談。きつと楽しく、ためになる話が聞けると思っています。

そして、お待ちかねは、エッセイスト・大石邦子さんの『生きること・愛すること』の記念講演。今までも大石さんの話を聞いた会場は、大きな感動と涙に包まれてきました。当日も、きつと大きな感動を参加者に与えてくれることになりそうです。

入場は無料。声を掛けあつて多数の参加をお待ちしております。

著名人の パネルがズラリと 骨髄バンク パネル展

この度、骨髄バンクについてわかりやすく説明した五枚組のパネルが出来上がることにになりました。これは全国協議会の全面的な協力により、財団が製作したものです。

その最初のお披露目となるのが全国協議会三周年記念のイベントが行われる横浜です。九月八日から十二日まで、横浜駅東口の地下通路で横浜そごう地下二階の入口にある広場です。

五枚組のパネルの他、これまでに骨髄バンク運動に協力して来てくれている著名人のパネルも沢山展示されます。

王貞治さん、川中美幸さん、リネカー選手、もちろんケントさん、刀根さんも。その他どんな人々のパネルが出るか当日をお楽しみに。

また、パネル展会場では日替りでプラスチックなどの演奏もあります。

あなたに、 情報のちから。

驚くような事実も、社会を大きく変えるような発明・発見も、そこに心を動かされる人がいなければ、きっと世界の片隅に埋もれていただろう。

語り継ぐ人がいて、形にする人がいて、事実は始めて情報になる。そして遙かな時を超えて出会い、つながり、新たな進化を遂げる。歴史は、情報の物語。私たちは、そこに何を見だし、どのような形にして、次の世代へ語り継いでゆけばいいのだろうか。

NTTグループは電気通信の技術とノウハウをベースに、様々な産業分野に多彩な事業を展開しています。あなたが求める情報のちからを、あなたが求めるシーンに。未来へ語り継ぐべき物語を確実に形にしていけます。



活動交流で元気が出たぞー

第二回 ボランティアセミナー

全国協議会主催、第二回ボランティアセミナーが、七月三十一日から二日間、長野県菅平高原で開かれました。セミナーの様子は、沖繩から参加した村上さんに感想文を寄せて頂きましたので、それをお読み下さい。



去る七月三十一日、全国協議会主催のボランティアセミナーが、長野県菅平の国本利子さんの経営のペンション・スカディに於いて開催されました。少々遅刻でたどり着いた私は、早速三つの班に別れてのディスカッションに参加した。内容は、各地域の活動の様子やボランティアに参加したきっかけ、それぞれの地域で抱える問題点、各日赤の対応の様子や移植病院の抱える問題、活動の活性化など多岐にわたり、質問も飛び交う熱心な話し合いが続きました。翌日は、前日のまとめと発表、記念撮影等が行われ、北は北海道、南は沖繩からまでという約五十人余りの情熱あふれる参加者による、にぎやかな

研修会は幕を閉じました。夕食に続く懇親会でも怒鳴り声と笑い声が交錯し、横道にそれながらもそれぞれのメンバーの内に秘めた情熱が感じられ、楽しい時間を過ごすことができたのと同時に、「私もこれからまたがんばらなきゃ」と新たなパワーを分けて頂いて沖繩に戻ってくる事が出来ました。参加者の皆さん、会場などのセッティングに活躍して下さった地元の方々の「つばさの会」の皆さん、そして会場を提供し美味しい食事を作ってく下さった国本さんに心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

(九州骨髄バンク推進連絡協議会 沖繩支部 村上珠里)

各地のたより

各地のたよりを写真を添えてお寄せ下さい。

岩手 みちのく岩手に新組織設立へ

東北地方でボランティア組織の空白区であった岩手県に新しい団体が生まれようとしています。それが岩手県骨髄バンク推進協議会(準)です。すでに11月16日に初めてのシンポジウムを開催することに決まっております。9月10日には正式に発足することになります。福島をはじめとする

新潟 高校野球新潟大会 決勝でピラ配り

7月29日、甲子園行きのキップをかけた新潟県大会の決勝戦でピラ配りを配りました。わずか2時間余りで4000枚のチラシを配ることができました。その日はドカベンモデルとなった明訓高校が会場とあってか、チラシを見て「あつドカベンだノ明訓高校だ」学校でも見た「これ会社にも貼ってある」などの声がかかれ、とても評判が良かったようです。たくさんの方から注目されるものが作れて嬉しく思うと

全米骨髄バンクがドナー体験者の調査報告

全米骨髄バンク(NMDP)がドナーに対する最初の調査報告をまとめた。「骨髄液採取はほとんど問題なしにドナーは十分耐えられるものであることを示しています。ドナーの不快感の出現、採取に伴う回復期間をさらに少なくするために、麻酔時間や採取量を含め、採取時間を最小に抑えるべきでしょう」と結論づけています。NMDPがスタートした一九八七年十二月一日から一九九〇年十一月三日におけるNMDPを通じたドナー四九三名全員が調査対象でした。このうち三名のドナーは二回採取をしていますが、最初の骨

福島 会津支部が発足!

福島県骨髄バンク推進連絡協議会の四番目の支部、会津支部が発足しました。支部発足を記念して「会津骨髄バンクを育てる集い」が七月二十四日に会津若松ワシントンホテルで盛大にひらかれた。地域の文化祭で骨髄バンクを取り上げるので、その支援、それと勉強会を勧めていくこととしました。青年部部长に福井克之君、副部长に新井春美さんが決まりました。(近藤)



埼玉 青年部発足

最近埼玉骨髄バンク推進連絡会では、高校生・大学生の問い合わせや、参加が増えてきました。そこで8月7日、10名の若者が集まり、青年部の発足をしました。若者たちの、知りたい、何か手伝えることはないか、など活気あふれた意見が交換され、今後の活動を意欲的に勧めようとする間を忘れて話し合いました。今後、月一回例会の前に青年部の部会を開くこと、当面の活動として、筑波大付属坂戸



登録内容	人数
1次検査実施済登録者数	26,748
2次検査依頼登録者数(1次適合)	16,059
2次検査実施済登録者数	11,201
登録受け付け患者数	1,218
2次適合患者数	578
2次適合登録者数	1,597

平成5年8月10日現在

心からのご寄付をありがとうございました

7月22日～8月18日まで	
鈴木俊治	現金 10,000
渡辺清美	現金 10,000
栃木市立西陵中学校 12期生3-1組	現金 10,000
スカディ募金箱	現金 1,111
国際ソロプチミスト富山	現金 50,000
土屋 信	現金 400,000
日本アイビー(株)	現金 100,000
増田安夫	現金 30,000
阿原一良	現金 10,000
シカオワイオンズクラブ	現金 10,000
匿名	現金 12,000

(順不同 敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
東京 5-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

野村正満 編 骨髄移植の現場から

患者や家族はどのように治療法を選択すべきか、移植医療の現状を第一線の医師らが報告した昨年のフォーラム「骨髄移植を学ぶ」のまとめと、バンク稼働後の課題を示す。 定価一七〇〇円(千三百〇〇円)

海鳴社

東京都千代田区西神田2-4-5
電話 03(3262)1967

頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシャクシャ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まつ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。

〈訂正とおわび〉
前号の全国協議会ニュース(第十四号)の各地のたより、長野からの報告で内容に誤りがありました。記事中のアンが行つたもので、つばさの会の主権ではありませんでした。ここに訂正して、おわび申し上げます。